

46億才の地球が 500万才の人間に破壊される



Environment **環境**



環境サミットは

今まで先進各国で大人を基準に設定されていた大気や水質、化学物質などの規制を、環境破壊の影響を受けやすい子供たちを基準に見直すことになりました。

環境サミット宣言は「次世代を担う世界の子供たちは環境破壊の脅威にさらされている。各国の環境基準は子供を保護するのに十分ではない。」と各国の環境行政の問題点が率直に認められました。また、現在世界の子供たちは温暖化や地域的に汚染されている飲料水、農薬などにより、体に被害を受けている実態も指摘されています。

自然を変えて しまった人間

産業革命から地球の環境破壊は始まったと言われています。人間が便利になった分、自然が

犠牲になっています。そして、自然環境を変えつづけた結果、災害の規模も大きくなり、想像をはるかに超えた被害が世界で発生しています。

日本も例外ではない。例えば、30年前に起きた新潟地震。被害分布から見ると、河川改修をする前の信濃川が流れた跡がありありと現れたそうです。

地盤の液化化を生む砂と水がある、旧河川の上だとも知らずに家を建てた人々は、人命おも失う被害を受けてしまいました。長崎の雲仙は、地熱を生かしたタバコの生産や温泉地としても有名。その恵みを受けるために人が集う。その結果、噴火による被害も大きくなっています。

釧路沖地震でも多くの家屋が倒壊した。その原因の一つは、盛った土の上に家を建てていたためでもある。本来、盛り土と自然の地盤とは、地震に対する物理的な反応が違うため、亀裂が入りやす

いとされています。

日本も罪

日本は東南アジアから大量に木を買い求めています。熱帯雨林の面積を小さくさせ、生態系のバランスを壊している。植物の絶対量が減っているため、大気に熱をこもらせる二酸化炭素が増え、地球の温暖化につながっています。天災は人災かもしれません。

世界で起きた 異常現象

93年の日本は大冷害となり、異常な冷夏。そして台風が次々と襲来し、集中豪雨が大きな被害をもたらしました。

アメリカ中西部の長雨は、過去最悪と言われ、ミシシッピ川の大洪水を引き起こしました。

シベリアでは記録的な暖冬、モングルでは多雨と寒波、北欧では冷夏と、世界の気象はゆがみ異常

が続きました。

このまま温暖化が進むと平均気温は確実に上昇し、100年後には平均気温が3度上昇すると言われています。

それによって起きる気象異常は集中豪雨や台風だけではなく、海面の水位も上がると予測されています。

数十センチ上昇すれば東京の下町は高潮による水没の危機があると言われていています。

21世紀には60億を超える人口。いずれは100億、120億とも推定されています。生態系のバランスを崩し続ける人類をどこまで地球が持ちこたえられるのか。

地球は利害にこだわる人間社会の犠牲になっています。戦争、乱開発、原油の流出、航空機や車両からの排ガス。

地球が誕生して64億年。宇宙暦からすると、地球が減る日は秒読みに入っているかもしれません。

このまま温暖化がすすむと
CO₂
100年後の地球は
生物のいない金星になる

10分間のアイドリングで
200 ccのむだ



美しい地球の温暖化を防ぐため
アイドリングをやめましょう!

N 自然
ature